

(4) (大陸) [1] 論 … 先天的な理性を重視

(5) [2] (17C、仏) が祖 (『[3] 序説』)

cf. [4] 的懷疑 … デカルトの懷疑論の特徴。「疑い得ない真理に達するために疑う」
という積極的懷疑

1 「我思う、故に我在り ([5])」

… 自我が出发点 (哲学の第一原理)

∴ 神からの自由

2 [6] 法

… 一般法則 (真理) → 個別の事実

∴ 数学的 注: 4つの規則 ([7] 性・分析・総合・枚举)

3 良識 ([8])

→ これで 情念 をコントロール = [9] の精神

憎しみ etc.

4 [10] 二元論

[物体 … [11] (空間的広がりをもつこと) が属性
精神 … [12] (思い考えること) が属性

∴ 心が肉体から自由に

(6) [13] 的自然観を批判 cf. ゲーテ (18・19C、独の文豪) は文学作品で主張

1 [14] (17C、蘭) — 「永遠の相のもとに」 (『[15]』)

神が唯一の実体

→ ethics

… 「神 = 自然」とする汎神論。物心一体

2 [16] (17C、独 数学も) — 『单子 ([17]) 論』

… モナド (单子) = 事物の最小の構成単位で、精神的実体

∴ 「最高のモナド = 神」による [18] 調和

③ [19] (実用主義)

… 19・20C、米生まれの新思考 cf. フロンティア精神が背景

(1) [20] — 「プラグマ = 行動」 ∈ 経験

(2) [21]

「真理だから有用。有用だから真理」 (『[22]』)

… 観念を行動で検討 → 神も有用ならば真理 (!?)

(3) [23] (『哲学の[24]』)

1 [25] 主義 (インストルメンタリズム) … 知識とは、試行錯誤を通じて改善される道具

∴ 全ての理論は問題解決のための仮説にすぎない

cf. 「何が善か」ではなく、「どうしたら善が実現されるか」が大事

2 ダイナミックな教育観 … 自己開発のすすめ (『[26] 主義と教育』)

MEMO etc.